

宮城

このいのちを
守り続けるひとになる



LEAF26



宮城県大崎市



特定非営利活動法人 LEAF26

LEAF26は、“みっけ”の気づきを共有し、 様々な“いのちを守り続ける活動”を 継続しています

LEAF26は、「いのちと地球を快適な環境に維持したい」を、共にする仲間。Life Earth Amenity Fellowshipとし、各頭文字でLEAF(葉っぱ)。この思いをA~Zまでの26文字(宗教や政治に染まらない白抜き文字)で伝えていく団体としました。私たちの主な取り組みは、出来ることから始めることです。それは、

- ① 子供たちの学習支援や地域づくりの支援を行う活動
- ② 社会や生活環境の多様な問題・歪みなどについて、逃げずに取り組む活動
- ③ 多様性とジェンダー平等の新たなあゆみを希求する活動

です。

■組織・団体に取り組む課題(テーマ)[SDGs]



写真について
上: 全体学習「何かいるかもよ」
下左: 田中川の水質調査などの探検風景
下中: まとめて環境と生態系の学習
下右: 松島町第二小の4年生は「田中川探検」をしたよ

〒987-1303 宮城県大崎市松山金谷字向田174-7
電話 0229-87-3026
E-mail leaf@leaf26.or.jp
URL <http://leaf26.or.jp/>



活動紹介

田中川探検 (総合学習支援活動)



捕獲したカニをカメラで記録



真剣な発表が輝いています

プロジェクト概要

松島町の二級河川田中川(約10km)において、毎年松島第二小学校4年生が行う「田中川探検」学習は、川の源流域(利府町赤沼)、上流域(松島町館ヶ沢)、中流域(松島町初原欠田)、下流域(松島町高城反町五)の4か所での水質調査(パックテスト)、天候・気温・水温の調査、水中生物、植物などの採取体験授業です。川の生き物を探る楽しさ、水とのふれあい、洞察・観察・捕獲体験から、生命の源である水、その水質情報から広がる生物の多様性などを理解します。調査から得られた情報の整理と考察。個々の感性表現、整理・分析の思考力、個人やグループ内で集約・集計する共同力、考えを伝える発信力・ICT教育スキルを活用します。発表会后、ESDの取り組み手法の検討も含めて次回の探検学習に結びつけていきます。

ESD実践のポイント

「田中川の社会的変遷」「4地域の特性と水質階級別指標生物・エコトーン」を背景に、事前に4地点の現場確認と体験学習を実施して、本番学習時の、個々及びグループ毎のテーマと探検手法を定めます。本番の探検学習では、定めたテーマに沿って探検をします。しかし、天候等の変化の中で、成果物が十分に得られるとは限りません。その後の関連授業の中で、環境に関する学習も含め、俯瞰力や情報・知識を参考に、課題やテーマを整理します。数か月後の田中川探検環境学習発表会には、次年度担当学年の3年生も参加しますが、4年生は緊張しつつも爽やかに自信に満ちた笑顔で発表できるのです。支援団体、先生方からの質問・アドバイスもありますが、常に鮮度ある環境学習でステップアップしていくESDは、子供たちの心に直接響く体験となっています。

担当者からのメッセージ

発表会では、英語を挟みながら課題の成果を延べていた。3年生に対して、クイズなどを出しながら理解を深める工夫など、アクティブラーニングが見られた。校長先生はじめ教諭もしっかりと見守っていたことが素晴らしかった。最後に、法人側の高い評価の感想コメント、環境クイズ、昆虫・植物・魚・風景等の画像放映を実施。子供たちの「見たことある!」「キレイ!」「わぁー」などの歓喜も多く、心に呼び掛ける感性を育てるESD授業も無事終わりました。



特定非営利活動法人 LEAF26
理事長 村上 昌芳さん